

農業体験報告

稲作組合プレゼント



「食」は人を育み、生きる力を与え、そして社会を動かす原動力となるもの。いうまでもなく、すべての人は「食」、それから「農」と無関係で生きることはできません。

日本社会が大きい変化に直面している今、これからの「食」と「農」はどうあるべきか。食料自給率、環境との調和、健康への配慮、食育、サプライチェーンの状況、農産物の適正価格など、私たちが真摯に向き合わなければならないテーマは少なくありません。「食」と「農」について考えることは、これからの社会を考えること、人の生き方を考えることなのです。

便利で豊かな時代ではあるものの、衰退傾向にある国内農業の実態を知り、現代そして将来の日本にふさわしい「食」と「農」のあり方を考える一つの機会として、体験事業を実施いたしました。

おやこで 稲作体験

令和7年 第1回 稲作組合プレゼント

宇治あぐりPR委員会

農業体験

2025年5月10日(土)

午前10時～12時 受付開始9時30分～

- ・ 農家さんのお話を聞こう
- ・ パケツ稲づくりセットのプレゼント
- ・ 稲づくりに大切な土づくり体験 など

会場 京都やましろ農業協同組合 中宇治支店
所在地：宇治市横島町大町13 駐車場あります

対象 親子10組（市内在住4歳～小学生の親子）
※先着順となります

申込 右記QRからお願いします
申込開始は4月9日（水）～

参加費 無料

服装 汚れてもよい服装 汚れてもよい靴

持ち物 水分補給の飲み物 タオル

美味しい おにぎり を食べよう

「食」は人を育み、生きる力を与え、そして社会を動かす原動力となるもの。いうまでもなく、すべての人は「食」、それから「農」と無関係で生きることはできません。日本社会が大きく変化に直面している今、これからの「食」と「農」はどうあるべきか。食料自給率、環境との調和、健康への配慮、食育、サプライチェーンの状況、農産物の適正価格など、私たちが真摯に向き合わなければならないテーマは少なくありません。「食」と「農」について考えることは、これからの社会を考えること、人の生き方を考えること。便利で豊かな時代ではあるものの、衰退傾向にある国内農業の実態を知り、現代そして将来の日本にふさわしい「食」と「農」のあり方を考える一つの機会として、体験事業を実施いたします。

主催：宇治あぐりPR委員会
企画・運営：NPO法人まちづくりねっと・うじ

連絡先：宇治あぐりPR委員会
メールアドレス：info@ujimachi.or.jp

開催概要

日時：2025年5月10日(土)

場所：京都やましろ農業協同組合 中宇治支店

講師：小山農園 小山貴裕さん

内容：お米づくりについてのお話
稲作用の土づくり体験
美味しいおにぎりを頂く など





参加者の感想

農業に
興味がわいた

土づくりが
楽しかった

農家さんから
稲作についての
話を聞いて良かった

参加者と一緒に楽しく過ごせたのが一番印象に残っています。

お米について「聞く」「触れる」「食べる」といような体験を通して、生産者の気持ちや楽しさを知ってもらえる機会になっていれば嬉しいです。家に帰ってからも自分でお米を育ててみて、育てるとい喜びを経験してもらえたことが嬉しいです。

参加して下さった皆さん、運営にご協力くださった皆さん、ありがとうございました。

講師：小山農園 小山貴裕さん

今回のイベントを企画・運営する中で、地域の力や人と人がつながる温かさを強く感じると共に、農業の大切さを改めて感じることができました。

ご参加くださった皆さん、ご協力くださった皆さんのおかげで、心に残る一日となりました。ありがとうございました。

企画・運営：
NPO法人まちづくりねっと・うじ
代表 日野真代